

【褒賞登録申請書・概要書】

事業名称	8 月例会
申請部門	対内事業部門

申請 LOM	山口青年会議所		
LOM 番号	87	LOM の人数	43
理事長名	真庭孝雄		
担当者名	上村昇平		
担当者携帯番号（半角）	09080617026	担当者 E-Mail（半角）	uemura-shohei@a-sa-hi-ruban.com

本事業の参加者	会員数	48 名	会員参加率	87.5%
	関係者数	1 名	一般参加数	0 名
事業実施に至った背景 200～400 文字程度	山口青年会議所会員の年齢別構成は 35 歳以上の割合が半数以上（29/48）となっている。そんな中、日本社会は少子高齢化の一途を辿っており、青年経済人がより活気を生み出すためには結束して地域発展の努力をしなければならない。現状の会の年齢別構成やそれに至る原因を拡大に成功された青年会議所 OB から学び、会員一同が理解をして現状を打開する方法を学ぶ機会が必要である。また地域発展はもちろん、会の存続・発展をするためには現会員が青年経済人としての自覚と修練、拡大をして同志で結束する必要がある。			
事業の目的 200～400 文字程度	山口青年会議所全会員に今後の会員の推移・それに起因する事態を把握してもらい、拡大を自発的に行える人財となることを目的とする。また青年会議所 OB の拡大活動の実績や方法を例会で実践、ロールプレイングをすることで熱量を肌で感じてもらい、拡大することは「一人一人の意識の差」であると実感して行動を促す。			
事業の概要 200～400 文字程度	本例会は「青年会議所の存在意義と拡大意識」と題して、山口県内にある萩青年会議所 OB、金子聖司さまを講師として迎え講演していただいた。本例会の構成は序盤、山口青年会議所がおかれている現状や今後を委員会メンバーから発表。その現状を周知したうえで、金子講師に現役時代にどのような拡大を実施されてこられたかを教えていただいた。金子講師は現役時代に日本青年会議所、拡大委員会に属されており、萩青年会議所では拡大に大きく貢献されている方です。また、日本青年会議所公式スポンサーであるアチーブメント株式会社が運営している一般社団法人日本プロスピーカー協会の会員兼、プロスピーカーであり、その団体でも多くの会員を拡大されている多方面で拡大に実績のある方			

	です。その類まれなる熱意と行動力・意識の磨き方を伝授していただいた例会です。	
開催時期・ タイムスケジュール	2024 年 8 月 7 日（水）	
	18 : 50 ~ 20 : 50	
開催場所	ユウベルホテル松政	
事業区分 新規・継続	新規	
公益・共益区分	公益	
事業総予算・収支 200～400 文字程度	予算上の工夫と、予算の内訳の概算を記述してください。	
	<p>予算は現状把握と拡大意識を向上に必要な最低限度必要な予算とした。収益としては本会計から出資。費用の内訳としては会場費 70,000 円、講師関係費 18,000 円、資料作成費 265 円、雑費 110 円、合計 88,375 円となった。資料作成費を削減するためにホワイトボードやプロジェクタの利用、本例会で学んだことを翌日に実施してもらうために後日、例会で学んだことを SNS で配信した。</p>	
協力団体	共催	なし
	協賛	なし
	後援	なし
	その他	一般社団法人日本プロスピーカー協会
事業対象者	山口青年会議所現会員	
行動(ACTION TAKEN) 200～400 文字程度	事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動について記入	
	<p>事業の調査</p> <p>JC 論を唱えていらっしゃる歴代会頭の鎌田長明様の「JC は衰退しているのか」の勉強会、山口市、世代別の人口推移や青年会議所の会員数推移やその減少の原因を会員はもちろん役場の方にもヒアリングを行った。</p> <p>立案</p> <p>物事の原因・問題点を明らかにしてどのようなタイトル・また例会構成にするかをより分かりやすく、また実践ベースで取り入れる例会が会員により伝わりやすいとのことで講師に年会議所 OB を選定。また多方面でその実績のある方を選定した。</p> <p>会議の流れ</p> <p>現状の把握、自分の置かれている立場を確認することで本例会がより学びになり、自発的に実践できるようにしたいとの思いで会議を進行した。そのためロールプレイングや質疑応答の時間を多く設けることにし</p>	

	<p>た。</p> <p>実施活動</p> <p>金子講師の講演はもちろん、担当委員会である拡大広報委員会メンバーがロールプレイングの先導役として例を講演して、それに対する金子講師の解説・改善ロールプレイングを行った。</p>
<p>結果 (RESULT)</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>複数の短い文章になるように下記項目毎に簡潔に記載</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的がどのくらい達成できたか 2. 上記の結果の想定外の結果 3. 上記の結果の確認方法 4. 検証結果 <ol style="list-style-type: none"> 1. アンケート結果を受けて、成果目標 100%に対して 80.5%であり未達で残念であったが 80%以上の会員に「拡大を実行したい」と思っていたことはこの例会を実施した意味が大いにあった。 2. この例会を機に各個人が後に開催される異業種交流会の誘いを個々で展開した。 3. 10月18日に行われた異業種交流会は13名の新規参加者を呼び込み、1名の拡大成功に繋がった。 4. 金子聖司先輩にご講演いただき、人に伝えようとする熱量を肌感覚で例会にてお伝え出来たことがよかったと思っています。
<p>地域社会への影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>この事業が与えた地域社会への影響を記入</p> <p>本例会後に実施した異業種交流会では13名の拡大候補者を会員が個々にお声がけして、拡大1名の成功に繋がった。拡大に繋がらなかった12名にも青年会議所の存在・活動・地域社会への影響を伝播することが出来たのはこの例会で学んだ、拡大意識向上が起因しているものと考えられる。</p>
<p>LOM への影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>この事業が LOM に与えた影響を記入</p> <p>拡大意識は当 LOM では拡大委員会が主体的、またその委員会のみが拡大を実施しているに近い状況であった。この例会を機に拡大は自身の青年会議所活動だけではなく、仕事にも大きく影響することを講演していただいた。自身の事業の発展は LOM の発展につながるという点で会員に強く意識を向上させるものであった。</p>
事業の長期的な影響	この事業の期待される長期的な影響を記入

200～400 文字程度	この例会は異業種交流会とセットで考えられているモノでもあった。また、拡大や事業発展の機会となった。2025 年の山口青年会議所の事業で拡大意識の向上として全体ラインで意識向上を継続させるために拡大ラインを配信、異業種交流会が引き続き実施される予定になっている。長期的な拡大意識向上と発展のために本例会が少しは影響を与えるものであったと考える。
考察や推奨 200～400 文字程度	検証を踏まえた次の行動を記入 アンケート結果で「拡大を実行したい」が 80.5%だったことから 2 割の会員には拡大の魅力を伝えることが出来なかった。この例会をより楽しんで拡大をしてもらうロールプレイングの時間を多く有した方がより、アンケート結果が良かったのでは内科と考察する。 また、講師との質疑応答の時間も多くするために、事前にヒアリングして答える時間多く設けることでより拡大意識の向上に繋がると考察する。
改善点 200～400 文字程度	どのような改善点がありますか？ 本例会ではお 1 人の講師であったが、多くの意見や方法を習得するために例会中に紹介する方法も考えられた。また、現会員のロールプレイングの時間を決めていなかったため、実施回数が少なかった。時間をしっかり決めて、どのような練習を実践したいか会員にもヒアリングして実施すればより主体的な拡大が展開されたと期待する。
その他 200～400 文字程度	その他のアピールや補足があれば記入 2024 年度拡大では 15 名が入会した。また 2025 年 4 月 25 日時点で 2025 年度は 4 名となっています。上半期のペースで言えば上場の立ち上がりではないかと思っております。今後、新入会員の研修でもさらに新しい会員を拡大する自主的な研修・青年会議所の在り方を学べる機会を多く実施されることとなっています。
当日のストーリー写真 (PDF)	・添付書類は 1 ファイルにつき A4 用紙で 2 枚以内（1 枚につき添付できる写真は 6 枚までとします。）で作成してください。 ・作成後 PDF 形式に変換して提出してください。 ・別途、事業に関する代表的な写真を 2 枚 JPEG データーでも提出してください。（PDF 資料と同じものでもかまいません） ・著作権及び肖像権を侵害する形での画像の使用は禁止します。
メディア掲載写真 (PDF)	
その他参考資料 (PDF)	
著作権及び肖像権	権利侵害が無い事を確認したらチェックをしてください。⊗



